



HP Sure Click Enterprise 4.4
Release 8 Update 1
4.4.19.1662
Release Notes



目次

Notices	5
はじめに	6
Sure Click Enterprise の要件	7
インストールに必要なソフトウェア	8
その他の機能要件	8
サポートしているブラウザ	8
対応ソフトウェア	9
サポートしている言語	12
HP Wolf Security Controller	13
サポートしている言語	13
サポートしているブラウザ	13
オンプレミスHP Wolf Securityコントローラ 4.4.177.....	14
サーバー要件	14
SQLデータベース要件.....	15
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 8 アップデート	16
測定データの取得	16
HP Secure BrowserのChromium 128のサポート.....	16
Windows 11 24H2のサポートを追加.....	16
Microsoft Internet Explorer 11.....	16
Sure Access との互換性追加.....	17
Microsoft Windows OSおよびOfficeのサポートタイムライン.....	18
制限事項	19
一般	19
Microsoft Edgeでのブラウジング	19

FirefoxによるWebブラウジング	20
ドキュメント	21
コントローラ	21
HP Sure Click EnterpriseのEOL (販売終了日) について	22
非推奨の機能およびプラットフォーム	23
今後の非推奨予定	23
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 8における新たな変更点	24
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 7における新たな変更点	26
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 6 における新たな変更点	36
バグフィックスとRelease5で報告された不具合	36
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 5 における変更点	39
バグフィックスとRelease4で報告された不具合	39
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 4 における変更点	41
バグフィックスとRelease3で報告された不具合	41
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 3における変更点	42
バグフィックスとRelease2で報告された不具合	42
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 2における変更点	44
バグフィックスとRelease1で報告された不具合	44
HP Wolf Security Controller 4.4.177の変更点	45
オンプレコントローラーの前バージョンから報告されたバグフィックスと問題	45
ヘルプを受ける	52
変更履歴	52
追記1- Sure Click Enterprise ライフサイクルポリシー	53
ライフサイクルポリシー	53

ライフサイクルポリシーに基づく製品のライフサイクルフェーズ ..	54
メインストリームサポート	54
サポート終了後	55
要件と制限	55
Sure Click Enterpriseライフサイクルポリシー	56
HP Secure Browserライフサイクルポリシー	56
よくある質問	56



Notices

Copyright © 2024 HP Development Company, L.P. The information contained herein is subject to change without notice. The only warranties for HP products and services are set forth in the express warranty statements accompanying such products and services. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty. HP shall not be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein.

The software and accompanying written materials are protected by U.S. and International copyright law. Unauthorized copying of the software, including software that has been modified, merged, or included with other software, or other written material is expressly forbidden. This software is provided under the terms of a license between HP and the recipient, and its use is subject to the terms of that license.

Recipient may be held legally responsible for any copyright infringement that is caused or incurred by recipient's failure to abide by the terms of the license agreement. US GOVERNMENT RIGHTS: Terms and Conditions Applicable to Federal Governmental End Users. The software and documentation are "commercial items" as that term is defined at FAR 2.101. Please refer to the license agreement between HP and the recipient for additional terms regarding U.S.

Government Rights.

The software and services described in this manual may be protected by one or more U.S. and International patents.

DISCLAIMER: HP makes no representations or warranties with respect to the contents or use of this publication. Further, HP reserves the right to revise this publication and to make changes in its contents at any time, without obligation to notify any person or entity of such revisions or changes.

Intel® Virtualization Technology, Intel® Xeon® processor 5600 series, Intel® Xeon® processor E7 family, and the Intel® Itanium® processor 9300 series are the property of Intel Corporation or its subsidiaries in the U.S. and/or other countries.

Adobe and Acrobat Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

October 18th, 2024



はじめに

このリリースノートでは、HP Sure Click Enterprise 4.4製品リリースおよびその後のアップデートについて、新機能やSure Click Enterpriseの要件に関する情報を提供しています。



Sure Click Enterprise の要件

Sure Click Enterpriseでは以下のハードウェアとソフトウェアが必要です。

ハードウェアまたはソフトウェア	説明
CPU	<ul style="list-style-type: none">・ Intel Core i3、 i5、 i7、 i9、 XEONプロセッサとシステムBIOSにて Intel Virtualization Technology (Intel VT)、 およびExtended Page Tables (EPT)を有効化。 vProチップセットを搭載したコンピュータを強く推奨します。・ AMDプロセッサにて Rapid Virtualization Indexing (RVI)を搭載。 Sure Click Enterpriseは2011年以降に販売されたほとんどのエンタープライズクラスのAMD製CPUに対応しています。サポートされるモデルはRyzenシリーズのCPU、 およびタイプ A4/A6/A8/A10 (最初の桁が3でなく4桁の数字が続く) のモデルです。 HPは最適なパフォーマンスを得るためにクアッドコアのAMD CPUを推奨しています。
メモリ	<p>最小メモリ構成 8GB RAM 推奨メモリ構成 16GB RAM</p> <p>利用可能なメモリ量を確認するには、電源を投入してデバイスにログインし、いかなるアプリケーションも起動せず、30分経過後に確認することをお勧めします。</p> <p>ベースラインとして、Windows 10またはWindows 11の標準的なエンドポイントにインストールする前に、少なくとも4GBの利用可能なメモリを確保されていることを推奨します。</p>
ディスク	6GB以上の空きディスク容量
オペレーティングシステム	<p>Microsoft Windowsの対応バージョンは、HP Sure Click Enterprise Windows サポートポリシーに従ってサポートします。 https://enterprisesecurity.hp.com/s/article/Windows-Support-Policy</p> <p>Windowsの新しいバージョンに更新する前にはHP Sure Click Enterpriseが最新バージョンにアップグレードされていること、 および最新バージョンがアップグレード先のオペレーティングシステムのバージョンをサポートしていることを確認する必要があります。</p> <p>HP Sure Click Enterprise EOLポリシー https://enterprisesecurity.hp.com/s/article/Product-Support-and-End-of-Life-Policy-EOL</p>

注：IntelおよびAMDプロセッサで仮想化を有効にする方法の詳細については、システムメーカーのドキュメントを参照してください。

msiexecを使用してSure Click Enterpriseをリモートでインストールする場合は、必ずSERVERURLを設定してください。未設定の場合は、インストールに失敗します。



インストールに必要なソフトウェア

- Microsoft .NET Framework 4.7.2
- Visual Basic for Applications (Officeからセキュアに印刷するための、Microsoft Officeインストール時の共有機能)
- セキュアプリントを使用するにはXPSサービスが有効で、Microsoft XPS Document Writerが存在する必要があります。

その他の機能要件

HP Sure Click Enterpriseのインストールでは以下が必要です。

- HPクラウドコントローラーまたはオンプレミスコントローラーインスタンス
- ローカル管理者権限 (評価用端末にインストールする場合)
- 有効なSure Click Enterpriseライセンス (HP担当営業またはカスタマーサポートから提供)

サポートしているブラウザ

- HP Wolf Security Extension for Chromeは、Google推奨の最新版Google Chromeをサポートしています。
- HP Wolf Security Extension for Firefoxは、Mozillaが推奨する最新のFirefox (ESR (115と128) または非ESR、64ビットのみ) をサポートしています。
- HP Wolf Security Extension for Edgeは、最新版のMicrosoft Edge Chromiumブラウザのみをサポートしています。

注意 : Chromeのサポートについては、Sure Click Enterprise Support Knowledge Baseに詳細が記載されています。

<https://enterprisecurity.hp.com/s/article/Product-Support-and-End-of-Life-Policy-EOL>

対応ソフトウェア

Microsoft Office 2016、 Click-to-Run x64/x86:

- Standard、 ProPlus、 Home Business、 Home Student、 Personal、 Professional、 O365 ProPlus、 O365 Business、 O365 Small Business Premium、 O365 Home Premium

Microsoft Office 2019、 Click-to-Run x64/x86:(Office365/Microsoft365)

- Standard、 ProPlus、 Home Business、 Home Student、 Personal、 Professional、 O365 ProPlus、 O365 Business、 O365 Small Business Premium、 O365 Home Premium

Microsoft Office 2021、 Click-to-Run:(Office365/Microsoft365)

- Standard、 ProPlus、 Home Business、 Home Student、 Personal、 Professional、 O365 ProPlus、 O365 Business、 O365 Small Business Premium、 O365 Home Premium

Microsoft 365 Apps for Enterprise

- PowerPoint、 Excel、 Word、 Outlook 添付ファイルの隔離対応
- 最新、月次エンタープライズ、半期エンタープライズの更新チャンネルをサポート

注意事項：Microsoft Officeの共有コンピュータアクティベーションライセンスはサポートされていますが、一部のシステムでは、隔離されたWord文書を開くときに、一時的にOfficeがアクティベーションされていない旨のバナーが表示されることがあります。

注意事項：OfficeのMSIバージョンは2016のみサポートします。

リテールライセンス - StandardおよびProPlus 64ビット

ボリュームライセンス - StandardおよびProPlus 64ビット

注意事項：Outlookの保護には「Outlook Cached Exchange mode」での接続が必要になります。

Adobe Acrobat Reader バージョン：DC 2023, 2024

Windows Media Player 12

Oracle VirtualBox

- Oracle VirtualBoxはネストされたVTをサポートしていると主張していますが、HP Sure Click Enterpriseと互換性がない方法で実装されていますので、VirtualBox内のゲストVMでHP Sure Click Enterpriseを実行することはサポートされません。

- HP Sure Click Enterprise はホストコンピュータ上でOracle VirtualBoxと一緒に実行できますが、Intel CPU の場合のみ且つMicrosoft Hyper-Vが無効になっている場合のみです。

次の構成でWindows ハイパーバイザープラットフォーム(WHP/HyperV)および仮想化ベースのセキュリティ(VBS)を実行しているエンドポイントをサポート：

- Windows ハイパーバイザープラットフォーム -WHP(Windows 10 21H2 -19044 以上)
- 仮想化ベースのセキュリティ (VBS) が有効になったWindows 10 64 ビット
- UEFI Secure Boot が有効になっている
- Windows の高速スタートアップオプションが無効になっている
- Intel vPro 第4世代以降のCore (i3/i5/i7) またはAMD Ryzen
- Trusted Platform Module(TPM)を推奨

vPro非搭載のIntel製チップセットサポート

注：VMCS Shadowing を使用しない環境で Sure Click Enterprise を実行すると、vPro 搭載システムと比較してパフォーマンスが低下しますが、HP はパフォーマンス差を可能な限り軽微とするための措置を講じています。

vPro以外のチップセットへの対応に以下の制限が存在します。
 ーホスト上でハイパネーション/S4機能が無効化され、非表示になります。

VDIの導入は以下の環境でサポートされています：

- VMWare Horizon View 8.x(最終検証はバージョン 8 2111とESX 7.0)
- Citrix Virtual Desktops 7.x (最終検証はバージョン7の2203とCitrix Hypervisor 8.2)
- SINA WorkStation 3.5.2 (Secunet Security Networks社製)
 - SINA Workstation 3.5.2にてソリューション検証済み。
ハードウェアの制限によりSINA Workstation 3.5.2を実行できない場合でも、最新の3.5.1バージョンもHP Sure Click Enterprise 4.4と互換性があります。
 - Secunetご利用のお客様には検証済みのハードウェア上で動作するWindows 10用のAppPackをご用意しています。

アンチウイルスおよびその他のサードパーティのアンチマルウェアソリューション：

- アンチウイルス製品をSure Clickと併用する場合は、下記ナレッジベースを参照して競合を回避してください。

<https://enterprisesecurity.hp.com/s/article/Bromium-and-Third-Party-Software-Interoperability-Guide>

- **重要:** HP 製品の正常な動作を妨げないように、併用して利用されているエンドポイントセキュリティ製品で適切な除外設定を作成してください。

必要な処置としては、サードパーティエンドポイントセキュリティ製品からすべてのHP Sure Click 関連のディレクトリをスキャンの対象から除外してください。ディレクトリの除外ができない場合や低パフォーマンスが見られる場合はプロセスおよびバイナリを除外してください。

除外を作成するには、サードパーティ製品のドキュメントを参照してください。

除外が設定されない場合はSure Click Enterprise の初期化に失敗したり、ドキュメントやブラウジングやオープニングが遅くなったりブロックされたりすることがあります。除外項目の作成については、『HP Sure Click Enterprise Installation and Deployment Guide』を参照してください。

サポートしている言語

HP Sure Click Enterpriseエンドポイントソフトウェアは、指定されたWindowsバージョンで以下の言語をサポートします。（**今回のバージョンから追加）

- ブラジル系ポルトガル語 (pt-BR)
- ブルガリア語 (bg-BG)
- 中国語(簡体字) (zh-CN)
- 中国語(繁体字) (zh-TW)
- クロアチア語 (hr-HR)
- チェコ語 (cs-CZ)
- オランダ語 (nl-NL)
- デンマーク語 (da-DK)
- 英語 US (en-US)
- 英語 UK (en-GB)
- エストニア (et-EE)
- フィンランド語 (fi-FL)
- フランス語 (fr-FR)
- カナダフランス語 (fr-CA)
- ドイツ語 (de-DE)
- ギリシャ語 (el-GR)
- ハンガリー語 (hu-HU)
- イタリア語 (it-IT)
- 日本語 (ja-JP)
- 韓国語 (ko-KR)
- リトアニア語 (lt-LT)
- ラトビア語 (lv-LV)
- ノルウェー語 (nb-NO)
- ポーランド語 (pl-PL)
- ポルトガル語 (pt-PT)
- ルーマニア語 (ro-RO)
- セルビアラテン語 (sr-Latn-RS)
- スロバキア語 (sk-SK)
- スロベニア語 (sl-SI)
- スペイン語 (es-ES)
- スウェーデン語 (sv-SE)
- タイ語 (th-TH)
- トルコ語 (tr-TR)
- ウクライナ語 (uk-UA)

注：HP Sure Click EnterpriseはすべてのWindowsロケールをサポートしています。
ロケールが上記に記載されていない場合、Sure Clickを使用するには完全英語言語パック（LpCab）を展開する必要があります。
・英語のローカルエクスペリエンスパック（LXP）はサポートされていません。
・言語が上記に含まれる場合は、ドキュメントとホスト上のネイティブUI、つまりデスクトップコンソールとマイクロ仮想マシンのどちらもサポートされていることを意味します。

HP Wolf Security Controller

このセクションではHPクラウドでホストされる Wolf Security Controller と、オプションのお客様がホストするオンプレミスの Wolf Security Controller の両方に適用されます。

サポートしている言語

HP Wolf Security Controllerを以下の言語に変更することができます：

- ブラジルポルトガル語
- オランダ語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- スペイン語
- スウェーデン語

言語はユーザープロファイル設定として保存され、ユーザーが変更するまで選択された言語のままになります。言語選択ボタンはコントローラのユーザーインターフェイスの左上にある以下のコントロールボタンを使用して変更できます。



サポートしているブラウザ

コントローラのWebインターフェイスは最新のHP Secure Browser、Edge Chromium、Chrome、Firefoxをサポートしています。

オンプレミスHP Wolf Securityコントローラ 4.4.177

以下の表は、コントローラを実行するサーバーと、コントローラが参照するSQLデータベースのハードウェアとソフトウェアの要件をリストアップしています。

重要：コントローラの新しいバージョンをインストールする前に、既存データベースのバックアップを必ず取得してください。

サーバー要件

ハードウェア または ソフトウェア	説明
CPU	Intel Sandy Bridge Xeon クアッドコアまたはそれ以上
ディスク	1TBの空きディスク容量
ネットワーク	エンドポイントがコントローラに通信するためには、ウェブサーバのポート443が利用可能である必要があります。
インターネット	コントローラはHPクラウドサービス (HP Rules Fileのアップデート、Threat Intelligence Reports、マルウェア名、最近の攻撃情報) からデータを受信するため該当URLへのhttps通信 (443番ポート) を許可することを推奨します。詳細については以下をご覧ください。 https://enterprisesecurity.hp.com/s/article/HP-Threat-Intelligence
オペレーティングシステム	Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022
メモリ	16 GB RAM
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft IIS 7.5+ (CGIモジュール、IIS Manager、静的コンテンツ、匿名認証) がインストールされていること。• .NET 4 Extended (サーバ) がインストールされていること。
SSL	エンドポイントから信頼される有効なSSL証明書 (テスト用途限定でHTTPモードで動作するよう設定できます。)

SQLデータベース要件

ハードウェア または ソフトウェア	説明
パフォーマンス	1000エンドポイントあたり200 IOPSを維持
ソフトウェア	SQL Server 2014 SP3+ SQL Server 2016 SP2+ SQL Server 2017+ SQL Server 2019+ SQL Server 2022+ スタンダード版とエンタープライズ版に対応 コントローラデータベースの管理スイートとしてのSQLサーバー管理スタジオ(SSMS)を利用してください。 SQL Expressは限定されたテストまたは評価環境でのみ利用してください。
ストレージスペース	1TBの空き容量

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 8 アップデート

テレメトリデータの取得

HPはライセンスコンプライアンスを含む正当な事業利益のために、ライセンステレメトリデータとカスタマーエクスペリエンスデータを収集します。

「HP Threat Intelligence」のクラウドサービス接続を有効にした顧客は、ライセンステレメトリデータおよびHPカスタマーエクスペリエンス改善プログラムデータが照合され、HP Wolfに自動的にアップロードされることに同意するものとします。

「HP Threat Intelligence」クラウドサービス接続を有効にしない顧客は、HP Wolfにライセンステレメトリデータを定期的に手動でアップロードする必要があります。またはオプションとして、HPカスタマーエクスペリエンス改善プログラムのデータにライセンステレメトリデータに含めることも可能です。

オンプレミスコントローラーのユーザーインターフェイスで生成されたすべてのデータはローカルマシンにダウンロードされます。その後、ファイルは手動にてHP Wolfに送信される必要があります。

詳細についてはこちらのKBを参照してください：[Sending On-Prem Telemetry Data to HP Wolf](#).

HP Secure BrowserのChromium 128のサポート

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 8ではセキュアブラウザを利用した際に、Google Chrome バージョン128のサポートが追加されました。

Windows 11 24H2のサポートを追加

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 8ではWindows 11 24H2のサポートが追加されました。

Microsoft Internet Explorer 11

Sure Click EnterpriseではIE11のサポートを終了しました。しかし、IE11はIngressアプリケーションとしてサポートされているため、IE11からダウンロードしたファイルはデフォルトで信頼されないように設定することができます。IE11を使用しなければならない場合のリスク軽減に役立ちます。HPでは、セキュリティ上の懸念とアップデートの欠如のため、IE11をすべてのインターネットアクセスからブロックすることを推奨しています。

将来のSure Clickのアップデートで、HPはInternet Explorer 11の全てのサポートを終了します。これはIngressアプリケーションとしてのサポートも含まれます。IE11は、Microsoftによって既にメンテ

ナンスやアップデートが行われていないため、インターネットアクセスには絶対に使用しないでください。

Sure Access との互換性追加

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 8ではSure Access Enterprise (SAE) の以下リリースが追加サポートされました。

- HP Sure Access Enterprise 8.1 Release 4 (8.1.2.215)
- 最大VHV 4.9.0



Microsoft Windows OSおよびOfficeのサポートタイムライン

HPはマイクロソフトの最新情報に基づいてサポートするオペレーティングシステムのバージョンを定期的に更新しています:

<https://docs.microsoft.com/en-gb/windows/release-information/>

オペレーティングシステムのサポート終了は少なくとも1つ前のリリースバージョンでリリースノートに記録されます。

HP Sure Click Enterprise Windowsの全体的なサポートポリシーは以下サイトでご覧いただけます。

<https://enterprisesecurity.hp.com/s/article/Windows-Support-Policy>

サポート対象:

- Windows 11
 - Windows 11 Version 24H2 – OS Build 26100 (EOL 2027/10)
 - Windows 11 Version 24H2 LTSC (EOL 2029/10)
 - Windows 11 Version 23H2 – OS Build 22631 (EOL 2026/11)
 - Windows 11 Version 22H2 – OS Build 22621 (EOL 2025/10)
 - Windows 11 Version 21H2 – OS Build 22000 (EOL 2024/10)

- Windows 10
 - Windows 10 Version 22H2 – OS Build 19045 (EOL 2025/10)
 - Windows 10 Version 21H2 – OS Build 19044 (EOL 2024/06)
 - Windows 10 Version 21H2 LTSC (EOL 2027/01)
 - Windows 10 Version 1809 LTSC – OS Build 17763 (EOL 2029/01)**
 - Windows 10 Version 1607 LTSC (サポート外)
 - Windows 10 Version 1507 LTSC (サポート外)

- Microsoft Office
 - Microsoft Office M365 継続的なサポート
 - Microsoft Office 2016 (EOL 2025/10)
 - Microsoft Office 2019 (EOL 2025/10)
 - Microsoft Office 2021 (EOL 2026/10)

**別途ダウンロード可能なAppPackとして

制限事項

一般

- Excel 2019のファイルを「PDFで送信」を使って共有すると、PDFではなくテキストファイルが添付されたメールが送信されます。
- 隔離されたアプリケーション (マイクロVM内) では、JAWSやZoomText Magnifier/Readerなどの支援技術はご利用できません。HPは今後のリリースで信頼されていないドキュメントやウェブページへのアクセシビリティサポートを追加するよう取り組んでいます。
- USBドライブなどのリムーバブルドライブからSure Click Enterpriseソフトウェアをインストールしないでください。リムーバブルドライブはデフォルトでは信頼されておらず、初期化段階でリムーバブルドライブ上のデータを読み込めなくなるためインストールが失敗します。
- クラウド保存されているドキュメントを直接保存、または開くことは、Office 365 ではサポートされていません。
- 隔離機能がシステム上まだ初期化されていない場合、ローミングプロファイルを持つユーザーはシステムに初めてログインしたときに初期化が行われます。
- Sure Click Enterpriseの後にSymantec Endpoint Protectionをインストールするには、まずはデバイスを再起動してください。
- 一時的な信頼操作は、「guce-advertising.com」リダイレクト機能を使用するサイトを信頼しません。この広告ネットワークが使用するリダイレクトは多くのウェブとソフトウェアのワークフローチェーンを切断します。HPはこの問題解決に取り組んでいますが、そのほとんどがVerizon Mediaのウェブプロパティに導入されているワークフローです。

<https://legal.yahoo.com/jp/en/yahoo/privacy/advertising/index.html>

Microsoft Edgeでのブラウジング

Microsoft Defender Application Guardに対するMicrosoft Edgeのサポートには、ネイティブメッセージングを使用する拡張機能は含まれません。



「Wolf Security Extensions」(以前の「SBX」)と旧来のスタンドアロンCredential Protection ExtensionはEdge Application Guardで機能しません。

WSXはネイティブメッセージングホストに接続できないためエラー状態になります。

これはマイクロソフトのブラウザの問題であり、HPで解決できるものではありません。

Skypeの拡張機能はサポートされていません。

また、2024/4/4のMicrosoft社の発表では、Microsoft Defender Application Guardのサポート対象から外れました。詳細はこちらをご覧ください。

<https://learn.microsoft.com/en-us/deployedge/microsoft-edge-security-windows-defender-application-guard>

FirefoxによるWebブラウジング

- Sure Click Enterpriseをインストールする前に、Firefoxがエンドポイントに既にインストールされていて起動されていない場合、ブラウザセッションがマイクロVMで隔離されるように、次の手順を実行する必要があります。
 - Firefoxを起動して、ユーザーのプロファイルを新規に作成します。複数のユーザーがいる場合、または新しいユーザーを作成した場合は、新規または追加のユーザーごとにFirefoxを起動する必要があります。
 - Firefoxを終了し、Sure Click Enterpriseを再起動します。
 - 分離されたマイクロVMでFirefoxを起動できるようになります。
 - ユーザーごとに複数のFirefoxプロファイルを作成する場合にも、同じ手順を実行する必要があります。
- Firefoxが仮想ブラウザとして構成され、信頼されていないブラウザ(.html)ファイルのデフォルトハンドラとして設定されている場合にファイルを開くと、ナビゲーションがブロックされていることを示すタブが誤って表示される問題が発生します。

ドキュメント

- Sure Click Enterprise は、デスクトップやイントラネットに保存されている企業リソースやファイルへのアクセスからドキュメントを分離します。その結果、隔離環境で開いているドキュメントがイントラネット上のデータベースまたはデスクトップ上のリンクされたファイルに接続しようとする、失敗してエラーが発生します。この機能を有効にするには、ドキュメントから Sure Click Enterprise 保護を削除する必要があります。
- ASXビデオファイルとWindows Update Standalone Installer (MSU) ファイルをマイクロVMで開くことはできません。
- 隔離は同じバージョンのMicrosoft Officeを複数同時にインストールすることには対応していません。
- 214文字以上のパスが含まれるファイルを開くとエラーが発生する場合があります。

コントローラ

コントローラはデバイスが最近再接続されていない場合でも、最後にわかっているデバイスの稼働状態を引き続き表示します。デバイスの接続情報および最終チェックイン日を確認するようにしてください。

HP Sure Click EnterpriseのEOL (販売終了日) について

バージョンは以下のように分類されます：

- メジャーバージョン [DOT] マイナーバージョン [DOT] アップデートバージョン (例：4.4.18)

製品サポートポリシー

- 本製品の最新のメジャーバージョンがサポートされます。

製品名	リリース日	EOL日	ステータス
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 8u1 (4.4.19.1662)	2024年11月5日	2025年5月5日	カレントGA
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 8 (4.4.19.1546)	2024年10月18日	2024年11月5日	EOL
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 7 (4.4.18.284)	2024年9月5日	2025年3月5日	メインストリーム
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 6 (4.4.14.323)	2024年5月3日	2024年11月3日	メインストリーム
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 5 (4.4.12.501)	2024年2月16日	2024年8月16日	EOL
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 4 (4.4.8.370)	2023年10月31日	2024年8月16日	EOL
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 3 (4.4.7.405)	2023年9月27日	2024年4月30日	EOL
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 2 (4.4.3.274)	2023年6月27日	2024年3月27日	EOL
HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 1 (4.4.1.571)	2023年1月10日	2023年12月27日	EOL
HP Sure Click Enterprise 4.3 (4.3.12.9)	2022年10月19日	2023年12月27日	EOL

フルプロダクトサポートとエンドオブライフポリシー (EOL) :

<https://enterprisesecurity.hp.com/s/article/Product-Support-and-End-of-Life-Policy-EOL>

非推奨の機能およびプラットフォーム

HP Sure Click Enterprise の最新バージョンから、古いプラットフォームと機能を非推奨としています。お客様は非推奨となるプラットフォームと機能、および対象となる期間とバージョンについて説明した KB 記事をご確認ください。

非推奨の機能およびプラットフォームに関する最新情報は

<https://enterprisecurity.hp.com/s/article/Deprecated-Features> をご覧ください。

以下の機能はサポートされなくなり、過去のリリースノートで非推奨と発表された後、Sure Click Enterprise 4.4 リリース 8では削除されました

- Firefox隔離サポート – ESR 102

今後の非推奨予定

次のSure Click Enterprise出荷バージョン以降で非推奨となり、削除される機能とサポート：

- Microsoft SQL Server (オンプレ版HP Security Controllerのみ)
 - SQL Server 2014 2024/12 削除予定
 - SQL Server 2016 2026/12 削除予定
 - SQL Server 2017 2028/4 削除予定
 - SQL Server 2019 2030/7 削除予定
 - SQL Server 2022 2033/7 削除予定
- Operating Systems (Microsoft社のEOLから半年後を目安)
 - Windows 10 Version 22H2 – OS Build 19045 2026/4 削除予定
 - Windows 10 Version 21H2 – OS Build 19044 2025/1 削除予定
- Citrix Hypervisor (VDI)
 - Nested Virtualization Support Citrix Hypervisor 8.2.1 削除
https://support.citrix.com/s/article/CTX560749-nested-virtualization-statement-for-citrix-hypervisor?language=en_US
- Microsoft Office / O365 / M365
 - Microsoft Office 2016 (All versions) 2025/10 削除予定
 - Microsoft Office 2019 (All versions) 2025/10 削除予定
 - Microsoft Office 2021 (All versions) 2026/10 削除予定

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 8 Update1における新たな変更点

以下のエンドポイントチケットが修正されました。

KRY	種類	詳細
15036	プラットフォーム	テンプレートが作成されている間にマシンがモダンスタンバイに入らないように制御し、完了すると入るように変更しました。
76814	プラットフォーム	Windows 11 24H2のサポートを追加しました。
78228	顧客修正	書き込みアクセス権がないファイルに保護を追加できるのは管理者ユーザーのみに制限しました。
81712	顧客修正	WSX for Firefoxが正しくインストールされるようになりました。
82232	アップデート	Chromium 128のサポートを追加しました。
82972	改善	ホストログファイルのデフォルトサイズ制限を25MBから50MBに、その他のログファイルを2MBから5MBに増加しました。
84251	新機能	Firefox ESR 128のサポートを追加しました。
84251	サポート削除	Firefox ESR 102のサポートを削除しました。
84293	顧客修正	新しい構成オプション (Untrusted.ArchiveCodePageOverride) を追加しました。これにより、UTF-8でファイル名が含まれていない信頼されていないZipおよびTarアーカイブのファイル名をデコードするための文字コードを上書きできます。例えばこの設定を932 (Shift-JIS) に設定すると、Shift-JISエンコードされたアーカイブ内のファイル名が正しく日本語文字にデコードされます。
84675	サポート削除	レガシーEdgeをインテグレーションアプリケーションとしてのサポートを削除しました。

85729	顧客修正	Microsoft KB5036893 のインストール後に永続ストレージのエラーが報告される問題を修正しました。
85950	顧客修正	"Browser.Chrome.AllowGuestToggleKeyboardLock"が1に設定されている場合、ESCキーがホストで事前処理されず、フルスクリーンを終了しないようにすることで、ユーザーが上流のChromeと同じ動作をするように修正しました。
86071	修正	信頼されていないドキュメントを「ページレイアウト」ビューで保存して開く際のMS Excelの問題を修正しました。
86071	顧客修正	「ページレイアウト」ビューで保存された信頼されていないMS Excelドキュメントを開く際の問題を修正しました。
86815	顧客修正	Winverが報告するホストとuVMのWindowsバージョンが異なる問題を修正しました。
88028	顧客修正	Microsoft Defender AntivirusのアンチマルウェアプラットフォームのMicrosoft KB4052623アップデートをインストールした後に発生するBSODの問題を修正しました。
88588	顧客修正	Sure Clickがモダスタンバイ中に新しいテンプレートを開始しないように変更しました。(この影響でテンプレート作成が失敗することが多かったため)
88806	顧客修正	「開く・保存する」ダイアグが表示中に予期しない中断を引き起こす問題を修正しました。
89917	修正	不要な初期化がトリガーされることにより、一部のデバイスでディスク容量が過剰に使用される問題を修正しました。

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 7における新たな変更点

以下のコントローラーチケットが修正されました。

KRY	種類	詳細
66900	UIアップデート	脅威UIに欠落していたSure Senseアイコンを追加しました。これは「行動保護」などのイベントで以前は欠落していました。
75920	機能アップデート	デバイスプロパティタブを更新し、Windowsエディションをオペレーティングシステム製品名として含めました。
76290	セキュリティ	誤った資格情報が使用された場合にログインを遅延させることで、ロボットやスクリプトによるブルートフォース攻撃をブロックします。
76298	セキュリティ	コントローラのパスワードがNIST/NCSCに準拠するようにパスワード要件を更新しました。
76917	UIアップデート	「破損したローカルグループポリシー...」管理アクションのカテゴリを修正しました。ドキュメントに合わせて「環境」カテゴリに設定されています。
77608	改善	任意のエンドポイントでソフトウェアチャンネルの更新ステータスをリセットする新しいリモートコマンドを追加しました。これにより、ソフトウェア更新サービスを再試行できます。
77743	改善	ソフトウェア更新の失敗に対する2つの新しい管理アクションを追加しました。これらはダッシュボードに表示されます。
78521	管理アクション	管理者の考慮事項を報告するための新しい「FirmwareFeatures」管理アクションを追加しました。
78939	顧客修正	ダッシュボードと管理アクションページに管理アクションが二重に表示される問題を解決しました。
78989	顧客修正	デバイステーブルの隔離ステータスの色を復元しました。
79020	改善	管理アクションを表示するためにクリックすると、デバイスをグループ化し、管理アクションページから直接リモートコマンドを送信できるようになりました。

79470	改善	最新のMicrosoft URLを使用して、組み込み「Trust Microsoft Office 365」ポリシーを更新しました。
80001	管理アクション	Google Widevine DRMライブラリがHP Secure BrowserでDRMコンテンツを表示するために利用できない場合に通知する新しい管理アクションを追加しました。
80197	修正	南アフリカのエンドポイントがフランス語で管理アクションを表示する問題を解決しました。
80270	改善	フルスクリーン表示の際にヘルスグラフを表示できない問題を修正しました。
80450	セキュリティアップデート	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： <ul style="list-style-type: none"> • CVE-2023-38325
80706	セキュリティアップデート	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： <ul style="list-style-type: none"> • CVE-2023-2602 • CVE-2023-35945 • CVE-2023-37920 • CVE-2017-10784 • CVE-2023-36617
81106	管理アクション	サポートされていないMS Outlook BETAが使用された場合、隔離によって保護されていない旨を通知する新しい管理アクションを追加しました。
81188	UIアップデート	管理アクションを操作するためいくつかのHPセキュリティコントロールページを更新しました。
81342	UIアップデート	「デバイスプロパティ」タブを更新しました。GPUハードウェアレンダリングのステータスが含まれます。

81344 81345	機能アップデート	<p>デバイスのGPUプロパティのサポートを追加しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイステーブルには、デバイスのGPUデバイスおよびGPUドライバプロパティが含まれ、デバイスのソートに使用できます。 • 詳細なデバイスビューにはGPUプロパティが含まれます。GPUプロパティにカーソルを合わせると、GPUの詳細が表示されます。 • GPUデバイスまたはGPUドライバに基づいて自動的に同期されるグループを作成できるようになりました。
81728	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALAS-2023-2249 • ALAS-2023-2257 • ALAS-2023-2259 • GHSA-v8gr-m533-ghj9 • CVE-2022-48174 • CVE-2023-38039
81960	UIアップデート	<p>ナビゲーションバーとページタイトルの「デバイスセキュリティ」を「デバイス管理」に変更しました。これらはすべてサポートされている言語にローカライズされています。</p>
81980	ポリシーアップデート	<p>HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。Microsoftからの最新のURLセットが含まれています。</p>
82063	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALAS2-2023-2312 • ALASSELINUX-NG-2023-001 • CVE-2023-44487 • ALAS-2023-2271 • ALAS-2023-2280
82360	修正	<p>デバイスページのフィルターの最大テキスト長が4000文字になりました。</p>
82487	ポリシー更新	<p>HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。Microsoftからの最新のURLセットが含まれています。</p>
82742	機能アップデート	<p>ポリシー内のソフトウェアチャンネルUIを更新し、任意のチャンネルに含まれるパッケージとバージョンを明確にしました。</p>
82958	UIアップデート	<p>デバイスページのフィルターの最大テキスト長が3900文字になりました。</p>

83012	セキュリティ アップデート	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： <ul style="list-style-type: none"> • ALAS-2023-2350 • ALAS-2023-2351 • ALAS-2023-2357 • ALAS-2023-2369 • CVE-2023-5678 • CVE-2023-49083
83210	ポリシー更新	HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。Microsoftからの最新のURLセットが含まれています。
83300	UIアップデート	ステータスインジケータの色分けを更新し、エラー時には灰色が使用されないようにしました。
83360	ローカリゼーション 更新	ポリシーページのフランス語翻訳に日本語文字が一部表示される問題を修正しました。
83590	セキュリティ アップデート	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： <ul style="list-style-type: none"> • ALAS-2024-2380 • ALAS-2024-2385 • ALAS-2024-2400 • ALAS-2024-2412 • CVE-2023-52323
83600	新機能	デバイスのTPMバージョンとTPMモデルのサポートを追加しました。これらはCPUやGPUと共にデバイスの詳細に表示され、互換性の評価に使用できます。
83920	セキュリティ アップデート	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： <ul style="list-style-type: none"> • ALAS-2024-2419 • CVE-2023-6129 • CVE-2023-6237 • CVE-2024-0727
83976	機能更新	HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。Microsoftの最新のURLセットが含まれています。
84188 84190	セキュリティ アップデート	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： <ul style="list-style-type: none"> • ALAS-2024-2442

		<ul style="list-style-type: none"> • CVE-2023-52071 • CVE-2024-0853 • GHSAs-3ww4-gg4f-jr7f • GHSAs-xxj9-f6rv-m3x4
84465	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALAS-2024-2456 • GHSAs-6vqw-3v5j-54x4
84607	顧客修正	<p>Sure Clickの脅威レポートにマルウェア名が含まれるように更新しました。</p>
84807	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALAS-2024-2478 • ALAS-2024-2479 • ALAS-2024-2487 • ALAS-2024-2490
85182	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • GHSAs-vmqv-47j8-gwv8
85302	機能強化	<p>HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。Microsoftの最新のURLセットが含まれています。</p>
85619	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • GHSAs-67hx-6x53-jw92
85945	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • CVE-2024-2511 • ALAS-2024-2512 • ALAS-2024-2519 • GHSAs-2m57-hf25-phgg • GHSAs-v5h6-c2hv-hv3r • GHSAs-w3h3-4rj7-4ph4
85966	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • GHSAs-mr82-8j83-vxmv

86095	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALAS-2024-2521 • ALAS-2024-2523 • ALAS-2024-2526
86689 85962	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • CVE-2023-42363 • CVE-2023-42364 • CVE-2023-42365 • CVE-2023-42366 • GHSA-2gr8-3wc7-xhj3 • GHSA-6c5p-j8vq-pqhi • GHSA-9wx4-h78v-vm56 • GHSA-cjwg-qfpm-7377 • GHSA-vg3r-rm7w-2xgh
87408	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • CVE-2023-42364 • CVE-2023-42365

以下のエンドポイントチケットが修正されました。

KRY	種類	詳細
51871	お客様 不具合修正	「名前を付けて保存」メニューのクイックアクセスリストにフォルダをピン留めしようとする時、Wordが予期せず終了する問題を修正しました。
54130	お客様 不具合修正	デバイスページのユーザータブがログイン変更後に誤ったAADユーザー名を表示する問題を修正しました。
54266	新機能	ホストとuVM間の表示設定の伝播に関する問題を修正しました。ホストでハイコントラスト表示が選択されるとこの設定がuVMでも使用されるようになりました。
64957	お客様 不具合修正	Androidシステムで作成されたJPG画像ファイルに関する問題を修正しました。これらのファイルはソースファイルのICCプロファイルメタデータが破損しているため、Windowsフォトビューアーで表示されませんでした。これらのファイルのローカルコピーは修正されたメタデータで作成され、正しく表示されるようになりました。
67466	お客様 不具合修正	信頼されていないPDF内に埋め込まれたPDFを同じuVM内で開けるようにPDFサポートを更新しました。
68355	新機能	悪意のあるファイルをメールに添付しようとしたときに、期待される警告ポップアップウィンドウが正しく表示されるように問題を修正しました。
72426	お客様 不具合修正	Firefoxの「画像を名前を付けて保存」および「ページを名前を付けて保存」コンテキストメニューコマンドに関する問題を修正しました。
80916	セキュリティ アップデート	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： • CVE-2023-20588
81155	お客様 不具合修正	Trust-on-Ingressが有効な場合、パスワード保護されたOutlookメールの添付ファイルを保存できるように修正しました。

81308	セキュリティ アップデート	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： <ul style="list-style-type: none"> • CVE-2022-4203 • CVE-2022-4304 • CVE-2022-4450 • CVE-2023-0215 • CVE-2023-0286 • CVE-2023-0464 • CVE-2023-0465 • CVE-2023-0466 • CVE-2023-1255 • CVE-2023-2650
82258	お客様 不具合修正	コードインテグリティイベントの誤報を防ぐための処理を更新しました。
82662	更新	製品ごとに異なる表現を追加： <ul style="list-style-type: none"> • WPS用：「HP Wolfセキュリティ製品は、すべてのHP Wolf対応バージョンのWindows 10に同梱されている.NET 4.7.2を必要とします。」 • SAE用：「HP Sure Access Enterpriseは、すべてのHP Sure Access Enterprise対応バージョンのWindows 10に同梱されている.NET 4.7.2を必要とします。」 • SCE用：「HP Sure Click Enterpriseは、すべてのHP Sure Click Enterprise対応バージョンのWindows 10に同梱されている.NET 4.7.2を必要とします。」
83157	改善	コピーオンライト (COW) 操作のディスク使用量を最適化しました。COW使用量が設定可能な制限に達したときにマシンを再初期化できるようになりました。
83381	お客様 不具合修正	ポリシーパスの処理に関する問題を修正しました。ポリシーパスはUNCパス (DFSドライブへのパスを含む) およびマップされたドライブ文字を持つパスにすることができます。
83694	お客様 不具合修正	「名前を付けて保存」メニューの参照ボタンをクリックした後、Excelが予期せず終了する問題を修正しました。
83706	アクセシビリティサポ ート	ゲストでAdobe Acrobat Readerの特定のアクセシビリティ設定をサポートしました。
84031	お客様 不具合修正	Outlook経由で受信した信頼されていないリンクがセキュアブラウザにリダイレクトされない問題を修正しました。

84162	顧客修正	セキュアブラウザに送信されたリンクが読み込まれない問題を修正しました。
84794	脅威分類の更新	Chromeの更新により発生した誤検知の脅威アラートを修正しました。
84861	セキュリティアップデート	<p>セキュアブラウザをChrome 122にアップグレードしました。既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントの更新が含まれています：</p> <ul style="list-style-type: none"> • CVE-2024-0808 • CVE-2024-0809 • CVE-2024-0810 • CVE-2024-0811 • CVE-2024-0814 • CVE-2024-1077 • CVE-2024-1675 • CVE-2024-2400
84865	新機能	<p>セキュアブラウザの更新に伴い、次のChromeグループポリシーをサポートしました：</p> <p>HttpsOnlyMode、HttpsUpgradesEnabled、HttpAllowlist、InsecureContentAllowedForUrls</p> <p>これらのポリシーは、企業環境でのHTTP-HTTPSアップグレードの動作を制御します。</p>
84883	顧客修正	.NETで実装されたサードパーティのシェル拡張機能がHP Sure Clickを予期せず停止させる問題を修正しました。
84933	修正	Acrobat Readerの更新により発生した問題を修正しました。これにより、信頼されていないPDF VMで「新しい外観」ポップアップが表示されるのを防ぎます。
85191	セキュリティアップデート	<p>既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • CVE-2022-27672
85359	お客様不具合修正	Sure Clickの問題を修正し、Zoom Outlookプラグインの更新を妨げる問題を修正しました。
85406	お客様不具合修正	代替データストリーム (ADS) がファイルに作成された場合、信頼されていない場所のファイルが一時的に信頼される問題を修正しました。

85639	お客様 不具合修正	ファイルタイプがエスケープアウトされ、受信時に信頼されるように構成されている場合の一貫性のない動作を修正しました。
85750	更新	HPセキュアブラウザをChrome 124に更新しました。
86323	新機能	新しいOutlookを受信アプリケーションとして構成するための基本的なサポートを追加しました。
87226	更新	HPセキュアブラウザをChrome 126に更新しました。

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 6 における新たな変更点

バグフィックスとRelease5で報告された不具合

KRY	種類	詳細
54266	新機能	ホストとuVM間のディスプレイ設定の伝搬に関する問題を修正しました。ホスト上で高コントラストディスプレイが選択された場合、この設定はuVMでも使用されるようになりました。
64957	お客様 不具合修正	Androidで作成されたJPG画像ファイルに関する問題を修正しました。これらのファイルはソースのICCプロファイルメタデータが破損しているため、Windowsフォトビューアでレンダリングされませんでした。これらのファイルのローカルコピーが作成され、メタデータを修正して正しく表示されるようになりました。
68335	新機能	電子メールに悪意のあるファイルを添付しようとしたポップアップが表示されない問題を修正しました。警告ポップアップウィンドウが正しく表示されるようになりました。
80389	お客様 不具合修正	休止されたVMのオーディオ設定の変更が失敗する問題を解決しました
80525	お客様 不具合修正	AdobeReader/Proのインストーラによって発生する問題を修正しました。信頼できないPDFがVM上のAdobe Readerのインスタンス内で正しく開くようになりました。
81111	お客様 不具合修正	ダウンロードしたExcelファイルが誤って信頼される問題を修正しました。これはTeamsをイングレス・アプリケーションとして追加したSCEの顧客にのみ影響しました。
81377 81508	セキュリティ アップデート	セキュアブラウザを更新しました。これにより、信頼サイトと信頼できないサイトの両方でChromeのグループポリシーのRequireOnlineRevocationChecksForLocalAnchorsとEnableOnlineRevocationCheckの設定が尊重されるようになり、証明書の失効処理がアップストリームのChromiumと常に同じになります
81583	修正	ハイフネーションが正しく表示されるようにセキュアブラウザを更新しました。
81618	お客様 不具合修正	SCE Outlookアドインが自動的に起動しない問題を修正しました。
82070	お客様 不具合修正	アクセス可能なアーカイブファイルがブロックされる問題を修正しました。

82071	お客様 不具合修正	信頼されていないファイルが再配置された後に誤って信頼される問題を修正しました
82539	新機能	脅威の封じ込めが初期化に失敗する問題を解決しました。
82662	更新	HP Sure Click Enterprise はサポートされるすべてのWindows 10 サポートバージョンに同梱されている .NET 4.7.2 を必要とするようになりました。
82737	パフォーマンス 改善	Windows Hypervisor Platform (WHP) モードで Sure Click を実行しているマシンのメモリが不足している場合、uVMのメモリ使用量が調整されました。
82954	お客様 不具合修正	ゲストネットワークのフォールバック機能を追加しました。ネットワーク関連の PowerShell コマンドレットが壊れている場合に必要になります。
83101	お客様 不具合修正	Windowsのメジャーアップデートによりまれに発生するエンドポイントの再初期化の問題を修正しました。
83200	お客様 不具合修正	Adobe Reader のアップデートにより Adobe Reader アプリの仮想化に失敗する問題を修正しました。
83564	更新	ファイルのハウスキーピングを更新しました。エンドポイントで不要になった Windows アプリパックはエンドポイントの再起動時に自動的にアンインストールされます。
83960	お客様 不具合修正	電子メールで Office ファイルを開いたり、添付したり、共有したりするときの不具合を修正しました。
84031	お客様 不具合修正	Outlook経由で受信した信頼できないリンクがセキュアブラウザにリダイレクトされない問題を修正しました。
84162	お客様 不具合修正	セキュアブラウザに送信されたリンクが読み込まれない問題を修正しました。
84794	脅威分類 機能改善	Chromeのアップデートに起因する問題を修正し、偽陽性の脅威アラートが発生しないようにしました。
84861	セキュリティ アップデート	セキュアブラウザをChrome 122にアップグレードしました。既知の脆弱性を緩和するためのさまざまなサードパーティ製コンポーネントのアップデートが含まれます。 対象となるCVEは以下になります： <ul style="list-style-type: none"> • CVE-2024-0808

		<ul style="list-style-type: none"> • CVE-2024-0809 • CVE-2024-0810 • CVE-2024-0811 • CVE-2024-0814 • CVE-2024-1077 • CVE-2024-1675 • CVE-2024-2400 • CVE-2023-6508 • CVE-2023-6509 • CVE-2023-6510 • CVE-2023-6511 • CVE-2023-6512 • CVE-2023-6702 • CVE-2023-6703 • CVE-2023-6704 • CVE-2023-6705 • CVE-2023-6706 • CVE-2023-6707 • CVE-2023-7024 • CVE-2024-0222 • CVE-2024-0223 • CVE-2024-0224 • CVE-2024-0225 • CVE-2024-0333
84865	新機能	Secure Browser が更新され、以下の Chrome グループ ポリシーがサポートされるようになりました：HttpsOnlyMode、HttpsUpgradesEnabled、HttpAllowlist、および InsecureContentAllowedForUrls。これらのポリシーは企業設定における HTTP-HTTPS アップグレードの動作を制御します。
84933	修正	Acrobat Readerのアップデートに起因する問題を修正しました。これにより信頼されていないPDF VMで「新しい外観」ポップアップが表示されなくなりました。



HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 5 における変更点

バグフィックスとRelease4で報告された不具合

KRY	種類	詳細
77139	プラットフォーム	Windows 20H2OS Build 19042 (EOL 2023/5)のサポート対象から削除
77383	機能改善	HP Secure Browser Firefox のFirefox ESR115サポート
77917	機能改善	HP Secure Browser のChrome 120サポート
78192	お客様 不具合修正	Firefox経由で複数のEdgeインスタンスを起動時に攻撃誤検知される不 具合を修正
78530	お客様 不具合修正	Secure Browserで開かれたPDFを印刷した際に白黒印刷になってしま う不具合を修正
80616	お客様 不具合修正	ドキュメントメタデータに不良がある場合保護の解除ができない不具 合を修正
80725	言語サポート	韓国語、中国語（簡体字）、台湾語の言語サポートを追加
81940	新機能	Windows 11 23H2のサポート追加
82490	お客様 不具合修正	DRMエラーが誤ってマネージメントアクションに表示される不具合を 修正
82490	お客様 不具合修正	2度目の再初期化が実行されるまでDRMエラーが出る不具合を修正
83155	機能改善	新AMD社製CPU、Threadripperのサポート追加
83200	お客様 不具合修正	初期化の際に必要なAdobe Readerの新しいファイル類をアップデート

83960	お客様 不具合修正	Outlookの新バージョンにてBromium_MAPIを使って添付した際に発生する不具合を修正
82108 81644	お客様 不具合修正	一部の環境でHP Sure Click Outlookプラグインをロードした際にOutlookがクラッシュする不具合を修正

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 4 における変更点

バグフィックスとRelease3で報告された不具合

KRY	種類	詳細
73711	お客様 不具合修正	32ビット版Acrobat ReaderまたはMicrosoft Officeがインストールされている場合、初期化に失敗することがある問題を解決しました。
77913	機能修正	Office 2016のサポートを再開しました。
78675	セキュアブラウザ	セキュアブラウザのバージョンがChrome 116にアップデートされました。
80092	お客様 不具合修正	Sure Click Enterprise インストーラーを使用すると、HP Software Update Serviceのアップグレードが不要な場合はアップグレードされないことがありましたが、常に最新にアップグレードされるようにしました。
80890	機能追加	互換性のないバージョンのOutlookがインストールされた場合、エンドポイントがコントローラの新しい「管理アクション」を発生させるようにしました。
80953	お客様 不具合修正	一部のお客様環境にて、初期化時に "SECOND_BOOT_POWER_ON_FAILURE"と表示される問題を解決しました。

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 3における変更点

バグフィックスとRelease2で報告された不具合

KRY	種類	詳細
64546	機能追加	ダブルクリックするとデフォルトで自動的に信頼されるファイルに対して、右クリックと「保護の解除」が実行された場合のUXを改善しました。
68608	お客様リクエスト機能	圧縮ファイルに含まれるすべてのファイルの保護を維持したまま解凍する機能を追加。Windows ファイルエクスプローラーで、フォルダ構造（解凍操作によって作成される）から保護を削除する機能を追加しました。
72339	お客様不具合修正	隔離されたPDFアプリケーションから署名し、PINを要求する証明書を使用する場合、正しくPINを要求するように修正しました。
73310	お客様不具合修正	OutlookからOneNoteへの信頼できない添付ファイルのコピー＆ペーストが正しくブロックされるようになりました。以前は、OutlookからOneNoteへの信頼できないファイルのドラッグ＆ドロップは正しくブロックされていましたが、OutlookからOneNoteへの同じファイルのコピー＆ペーストは誤って許可されていました。
75128	Firefoxセキュリティパッチ	Firefox CVE-2018-25032の修正しました。
75764	機能追加	Teamsのような「Ingressアプリケーション」として設定されているアプリケーションを「信頼済みダウンロードサイト」に準拠するようにしました。
77911	機能追加	HP Secure BrowserがChromium 114にアップグレードされました。
77962	お客様不具合修正	Powershell ISEおよびPowershell Core (pwsh.exe) が保護されているファイルにアクセスできないようになりました。これにより保護を解除したファイルのコピーがブロックされます。
78148	お客様不具合修正	特定の状況で保護を解除すると、BrGuestSvr.exeがクラッシュする不具合を修正しました。
78220	お客様不具合修正	保護された複数の文書を選択し、ワンクリックで印刷できるようにしました。

78322	お客様不具合修正	HP Secure Browserの[名前を付けて保存]ダイアログでファイル名を変更すると、ファイルから保護が解除される問題を修正しました。
78675	お客様不具合修正	信頼できないファイルと信頼できるファイルが混在した添付ファイルをOutlookのメールにコピー/ペーストで添付できない不具合を修正しました。
78953	機能追加	以下の言語サポートを追加しました。 ar-SA, bg-BG, cs-CZ, el-GR, et-EE, he-IL, hr-HR, it-LT, lv-LV, ro-RO, sk-SK, sl-SI, sr-Latn-RS, th-TH, tr-TR, uk-UA
79202	機能修正	デスクトップコンソールの「システム情報」ボックスにOfficeのバージョン情報が表示されるようになりました。
79420	機能追加	1TB以上のメモリを搭載したワークステーションを追加サポートしました。
79444	お客様不具合修正	コントローラーにて除外設定がされているにもかかわらず、「SCEはDefenderの除外対象に追加されていません」という警告が表示される問題を修正しました。
79551	Chromeセキュリティパッチ	Chrome CVE-2023-2725, CVE-2023-2930, CVE-2023-2940, CVE-2023-3079の修正しました。
79713 79465	機能修正	HP Secure Browserの信頼済みサイトリストにあるサイトに対して「Ingress時に信頼する」構成が適用されないと不具合を修正しました。
79887	機能修正	HP Secure Browserの信頼済みサイトリストにあるサイトに対して、「信頼できるダウンロードサイト」構成が適用されないという問題を修正しました。
80014	修正	保護されたワード文書に画像ファイルを挿入できない問題を解決しました。
80092	機能追加	Sure Clickのアップグレード時にHP Security Update Serviceを常に最新バージョンにアップグレードするようになりました。
80230	機能追加	このサブシステムの改善により、保護された文書からの印刷が高速化されました。

HP Sure Click Enterprise 4.4 Release 2における変更点

バグフィックスとRelease1で報告された不具合

KRY	種類	詳細
62908	機能追加	利用可能なメモリに応じてmicro-vmのサイズを変更できるようにすることで、低メモリマシンでのパフォーマンスが大幅に向上しました。
74244	修正済み	信頼できないドキュメントの印刷に失敗することがある問題を修正しました。
75117	ブラウザ 修正	セキュアブラウザでQRコードをスキャンすると、ウェブフォームに自動入力されない問題を修正しました。
76747	修正済み	Internet Explorer 11への関連コードをすべて削除しました。
77791	修正済み	Outlookの新規メールにドラッグ&ドロップでファイルを添付すると、信頼できないファイルとして動作する問題を解決しました。

HP Wolf Security Controller 4.4.177の変更点

オンプレコントローラーの前バージョンから報告されたバグフィックスと問題

KRY	種類	詳細
66900	UI更新	脅威UIに欠落していたSure Senseアイコンを追加しました。これは「行動保護」などのイベントで以前は欠けていました。
75872	顧客修正	「HP Wolf Security機能を無効にすることを許可する」を「一般」タブに移動しました。
75920	機能更新	デバイスプロパティタブを更新し、オペレーティングシステム製品名としてWindowsエディションを含めました。
76290	セキュリティ更新	誤った資格情報が使用された場合にログインを無効にする時間遅延を増加させました。これにより、ロボットやスクリプトがログインをブルートフォースするのを防ぐようになりました。
76298	セキュリティ更新	コントローラーパスワードがNIST/NCSC準拠にセキュリティを更新しました。
76917	UI更新	「破損したローカルグループポリシー…」管理アクションのカテゴリを修正しました。ドキュメントに合わせてカテゴリを「環境」に設定しました。
77577	改善	Wolf SecurityコントローラーのウェルカムページをHPの最新デザインに更新しました。
77608	改善	任意のエンドポイントでソフトウェアチャネルの更新ステータスをリセットする新しいリモートコマンドを追加しました。これにより、ソフトウェア更新サービスを再試行できるようになりました。
77743	改善	ダッシュボードに表示されるソフトウェア更新失敗のための新しい管理アクションを2つ追加しました。
78232	アップグレード	4.2.87より古いコントローラービルドから最新リリース (4.4.177) に直接アップグレードすることはできません。一度4.2.87から4.4.155の間のビルドにアップグレードし、その後4.4.177にアップグレードできます。
78401	改善	既知の互換性のないサードパーティソフトウェアがインストールされているシステムにHP Wolf Securityがインストールされている場合に無効にするための構成オプションを追加しました。
78521	新しい管理アクション	管理者向けの新しい「Firmware Features」管理アクションを追加しました。
78939	顧客修正	ダッシュボードと管理アクションページに管理アクションが二重に表示される可能性がある問題を修正しました。

78989	顧客修正	デバイステーブルの隔離ステータスの色が復元しました。
79020	改善	管理アクションを表示するためにクリックすると、デバイスをグループ化し、管理アクションページから直接リモートコマンドを送信できるようになりました。
79184	顧客修正	コントローラーからHPセキュリティポータルに戻れない問題を解決しました。
79470	改善	組み込みの「Trust Microsoft Office 365」ポリシーを最新のMicrosoft URLで更新しました。
79732	新機能	新しい顧客データ収集を使用してテナント設定を更新しました。ビジネス/個人使用を提供する必要があります。ビジネス使用の場合、住所の詳細と会社名を提供する必要があります。ビジネス/個人使用の両方に連絡先情報を提供する必要があります。この情報が提供されていない場合、設定ページへのリンクが表示されます。
79832	改善	WPSコントローラーユーザーがデフォルトで競合時に無効にする機能をオフにするようにWPSデフォルトポリシーを更新しました。
80001	新しい管理アクション	HPセキュアブラウザーでDRMコンテンツを表示するためにGoogle Widevine DRMライブラリが利用できない場合に通知する管理アクションを追加しました。
80197	修正	南アフリカのエンドポイントが管理アクションをフランス語で表示する問題を解決しました。
80270	改善	フルスクリーン時にヘルスグラフを表示できない問題を修正しました。
80450	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました。 CVE-2023-38325
80706	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました。 CVE-2023-2602 CVE-2023-35945 CVE-2023-37920 CVE-2017-10784 CVE-2023-36617
81106	新しい管理アクション	サポートされていないMS Outlook BETAが使用されており、隔離によって保護されない場合に通知する管理アクションを追加しました。
81176	修正	「デバイスセキュリティダッシュボード」からのナビゲーションを更新しました。これで、「展開状況」セクションの「Sure Click」バーをクリックすると

		メインダッシュボードにフィルタリングされたデバイスリストが表示されるようになりました。
81188	UI更新	管理アクションを操作するためのいくつかのHPセキュリティコントローラーページを更新しました。
81342	UI更新	「デバイスプロパティ」タブを更新しました。GPUハードウェアレンダリングのステータスが含まれるようになりました。
81363	顧客機能	デバイスの製造元およびモデルプロパティのサポートを追加しました： <ul style="list-style-type: none"> • デバイステーブルには、デバイスの製造元およびモデルが含まれており、デバイスの並べ替えに使用できます。 • 詳細なデバイスビューには、デバイスの製造元およびモデルが含まれます • 製造元またはモデルのルールに基づいて自動同期グループを作成することが可能になりました。
81728	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました。 ALAS-2023-2249 ALAS-2023-2257 ALAS-2023-2259 GHSA-v8gr-m533-ghj9 CVE-2022-48174 CVE-2023-38039
81960	UI更新	ナビゲーションバーとページタイトルの「デバイスセキュリティ」を「デバイス管理」に変更しました。これらはすべてサポートされている言語にローカライズされています。
81977	新機能	WPSデフォルトポリシーの許可プロトコルにZoomおよびTeamsのリンクを追加しました。
81980	ポリシー更新	HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。これには、Microsoftからの最新のURLセットが含まれています。
82063	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました。 ALAS-2023-2271 ALAS-2023-2280 ALAS2-2023-2312 ALASSELINUX-NG-2023-001 CVE-2023-44487
82360	顧客修正	デバイスページのフィルターの最大テキスト長が4000文字になりました。

82487	ポリシー更新	HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。これには、Microsoftからの最新のURLセットが含まれています。
82566	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： ALAS2-2023-2320 ALAS2-2023-2321 ALAS2-2023-2330 CVE-2023-28154 CVE-2023-41164 CVE-2023-43665 CVE-2023-46695 CVE-2023-5363
82716	新機能	WPS顧客管理者およびパートナー管理者の権限を更新しました。これで、エンドポイントデバイスのチャンネル状態をリモートでリセットできるようになりました。
82958	UI更新	デバイスページのフィルターの最大テキスト長が3900文字になりました。
83012	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： ALAS-2023-2350 ALAS-2023-2351 ALAS-2023-2357 ALAS-2023-2369 CVE-2023-49083 CVE-2023-5678
83210	ポリシー更新	HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。これには、Microsoftからの最新のURLセットが含まれています。
83300	UI更新	ステータスインジケータの色分けを更新し、エラーで灰色が使用されないようにしました。
83360	ローカライズ更新	ポリシーページのフランス語翻訳に日本語文字が一度だけ表示される問題を修正しました。
83590	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： ALAS-2024-2380 ALAS-2024-2385 ALAS-2024-2400 ALAS-2024-2412 CVE-2023-52323

83600	新機能	デバイスのTPMバージョンおよびTPMモデルのサポートを追加しました。これらはCPUおよびGPUとともにデバイスの詳細に表示され、互換性の評価に使用できます。
83920	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： ALAS-2024-2419 CVE-2023-6129 CVE-2023-6237 CVE-2024-0727
83976	機能更新	HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。これには、Microsoftからの最新のURLセットが含まれています。
84188	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： ALAS-2024-2442 CVE-2023-52071 CVE-2024-0853 GHSA-3ww4-gg4f-jr7f GHSA-xxj9-f6rv-m3x4
84190	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： ALAS-2024-2442 CVE-2023-52071 CVE-2024-0853 GHSA-3ww4-gg4f-jr7f GHSA-xxj9-f6rv-m3x4
84276	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： GHSA-3ww4-gg4f-jr7fv GHSA-9v9h-cgj8-h64p
84465	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： ALAS-2024-2456 GHSA-6vqw-3v5j-54x4
84607	顧客修正	レポートを更新しました。結果ドキュメントがマルウェア分析とファイルを識別するように解析されます。またStixレポートにも追加されました。
84807	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： ALAS-2024-2478

		ALAS-2024-2479 ALAS-2024-2487 ALAS-2024-2490
85182	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： GHSA-vmqv-47j8-gwv8
85302	強化	HP提供のポリシー「Trust Microsoft Office 365」を更新しました。これには、Microsoftからの最新のURLセットが含まれています。
85619	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： GHSA-67hx-6x53-jw92
85945	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： CVE-2024-2511 ALAS-2024-2512 ALAS-2024-2519 GHSA-2m57-hf25-phgg GHSA-v5h6-c2hv-hv3r GHSA-w3h3-4rj7-4ph4
85966	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： GHSA-mr82-8j83-vxmv
86095	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： ALAS-2024-2521 ALAS-2024-2523 ALAS-2024-2526
87408	セキュリティ更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを更新しました： CVE-2023-42364 CVE-2023-42365
81344 81345	機能更新	デバイスのGPUプロパティのサポートを追加しました： <ul style="list-style-type: none"> • デバイステーブルには、デバイスのGPUデバイスおよびGPUドライバプロパティが含まれており、デバイスの並べ替えに使用できます。 • 詳細なデバイスビューには、GPUプロパティが含まれます。GPUプロパティにカーソルを合わせると、GPUの詳細が表示されます。 • GPUデバイスまたはGPUドライバーに基づいて自動同期グループを作成することが可能になりました。

86689 85962	セキュリティ 更新	既知の脆弱性を軽減するために、さまざまなサードパーティコンポーネントを 更新しました： CVE-2023-42363 CVE-2023-42364 CVE-2023-42365 CVE-2023-42366 GHSA-2gr8-3wc7-xhj3 GHSA-6c5p-j8vq-pqhj GHSA-9wx4-h78v-vm56 GHSA-cjwg-qfpm-7377 GHSA-vg3r-rm7w-2xgh
----------------	--------------	---



ヘルプを受ける

ご質問がある場合は、HP Sure Click Enterprise リセール & デリバリーパートナーもしくは、HPサポートにお問い合わせください。

- <https://enterprisesecurity.hp.com> を合わせてご活用ください。

変更履歴

1.0	初回バージョン
-----	---------

追記1 - Sure Click Enterprise ライフサイクルポリシー

HP Wolf Security ライフサイクルポリシー

<https://enterprisesecurity.hp.com/s/article/Product-Support-and-End-of-Life-Policy-EOL>

この記事では:

- ライフサイクルポリシー
- ライフサイクルポリシーに基づく製品のライフサイクルフェーズ
- メインストリームサポート
- サポート終了後
- 要件と制限
- Sure Click Enterprise ライフサイクルポリシー
- HP Secure Browser ライフサイクルポリシー
- よくある質問

ライフサイクルポリシー

ライフサイクルポリシーは現在HPが提供しているWolf Security Software製品に適用されます。ライフサイクルポリシーは製品の発売時にすべてのソフトウェア更新のサポートとサービスのライフサイクルタイムラインを定義します。

お客様がサポートを受けるには、最新のアップデートを導入していただく必要があります。

HPは常にセキュリティを向上させた製品を提供することを念頭に置いており、開発中に脆弱性を取り除くように努めていますが、ソフトウェアの脆弱性は逃げられない現実であり、発見された場合に迅速に対応できるように準備をしています。弊社の推奨としては、最新の製品リリースを利用し、セキュリティおよびアプリケーション・パックが利用可能になり次第、可能な限り早くインストールし、安全性を維持することをお客様にお勧めします。古い製品は昨今の厳しいセキュリティ要件を満たしていないか、同程度の保護や機能を提供していない可能性があります。HPでも古い製品のセキュリティアップデートを提供できない場合があります。

ライフサイクルポリシーは、特に明記されていない限り、すべての製品に適用されます。製品固有のサポートおよびサービスこの記事の下段に記載してあります。

ライフサイクルポリシーに基づく製品のライフサイクルフェーズ

サポートの種類	メインストリームサポート	製品EOL後
インシデント対応	有り	部分的
製品の仕様やデザインの変更依頼	有り	無し
セキュリティアップデート	有り	無し
通常アップデート	有り	無し
セルフヘルプサポート*	有り	有り

*セルフヘルプ・オンライン・サポートは、製品のライフサイクルを通じて、また製品のサポート終了後も最低12か月間ご利用いただけます。HP オンラインナレッジベースの記事、FAQ、トラブルシューティングツール、ドキュメンテーション、およびその他のリソースは、お客様が一般的な問題を解決するのに役立ちます。

メインストリームサポート

メインストリームサポートは、製品ライフサイクルの最初のフェーズです。

製品およびサービスのメインストリームサポートには以下が含まれます：

- インシデント・サポート
 - お客様と協力して製品の問題を分析、理解し、根本原因を究明します。
 - 製品の修正が必要な場合は将来のアップデートに修正を含めます。
 - 修正プログラムのリリーススケジュールは確約しません。
 - 報告された問題の重要性を評価し、他の計画と合わせて適切なリリースを予定します。
- セキュリティアップデートのサポート
- 製品の機能拡張要求 (RFE)
 - 注：セキュリティ以外の機能拡張は、将来の製品ロードマップに沿って検討されます。RFEの受領に伴い、実装の合否や、サポート時期などを確約しません。
 - セキュリティ以外のRFEが承認された場合、将来にリリースされるバージョンに追加されます。新機能を利用するには該当するバージョンにアップデートする必要があります。

注意

- 一部製品では、これらの特典を受けるためにメンテナンスプログラムへの登録が必要となる場合があります。あらかじめご了承ください。

サポート終了後

この段階はメインストリームサポート終了後のフェーズです。
サポートされるソフトウェア・アップデートのレベルでは、製品およびサービスのEnd-of-Life Support以降 以下が含まれます：

- セルフヘルプ・サポート
- 商業上合理的な限定的努力によるインシデントサポート**

注記

- サポート終了後のフェーズでは、保証サポート、セキュリティ以外の製品強化、設計変更、新機能の要求は受け付けません。
- 製品によってはこれらの特典を受けるために有償サポートプログラムへの登録が必要となる場合があります。

**限定的な無償サポートが利用できる場合があります (製品によって異なり、お客様が有効なサポート資格を有している必要があります)。

要件と制限

弊社は本製品 (およびAppPacks) の新しいマイナーまたはメジャーバージョンをリリースする際に、特徴、機能、プラットフォーム、およびオペレーティングシステムへのサポートを中止する権利を留保しています。特定の機能、プラットフォーム、またはオペレーティング・システムのサポートを中止する場合は、可能な限り事前に通知するように努めます。事前の告知が可能な場合は、廃止に先立つリリースで廃止が発表されます。

注意

- バージョンや機能の非推奨化は、サードパーティの減価償却イベントに完全に依存する場合があります。

Sure Click Enterprise ライフサイクルポリシー

Sure Click Enterpriseにはリリースから6ヶ月間のメインストリームサポート期間があります。メインストリームサポート期間終了後、そのリリースのサポートは終了し、ライフサイクル終了とみなされます。

お客様のデバイスが可能な限り安全な状態を保たれるために6ヶ月ごとにデバイスのアップグレードを計画していただけますようお願い申し上げます。

	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sept	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar		
SCE 4.4 Rel 2	Mainstream																
SCE 4.4 Rel 3	Mainstream																
SCE 4.4 Rel 4	Mainstream																
SCE 4.4 Rel 5	Mainstream																
SCE 4.5/5.0 Rel 1	Mainstream																
																Retired	

HP Secure Browser ライフサイクルポリシー

HP Secure Browser は、エンタープライズ顧客および OEM パートナー向けに設計された Google Chromium の「Extended Stable」バージョンを利用してリリースしています。そのため、Secure Browser のリリースは、偶数番目の Chromium リリースに基づいて行われ、お客様向けの互換性を重視したセキュリティアップデートを提供しています。Secure Browser AppPack のリリースは現在の Google 社のスケジュールに基づき、およそ 10 週間ごとにリリースされる予定です。

メインストリームサポートは、Secure Browser の現行の出荷リリースに対して提供されます。

Secure Browser の新しいバージョンがリリースされると、以前のバージョンは直ちにサポート終了となります。

よくある質問

最新リリースでない場合、どのようなサポートが受けられますか？

- 製品のサポートは受けられますが、報告された問題をお客様の環境で現在のメインストリーム (GA) バージョンで再現していただくことになります。
- 現行のGAバージョンで問題が解決されている場合、報告された問題の修正がすでに含まれているバージョンにアップグレードすることをお勧めします。製品チームは最新バージョンでなくても根本原因分析を行います。この分析の一環として、お客様にはより新しいバージョンへのアップグレードをお願いする場合があります。
- 製品の修正が必要な場合は将来のアップデートに含める予定です。次期のアップデートで修正プログラムがリリースに含まれることは確約しません。修正の重要性を評価し、他の計画された変更に沿った適切なリリースでスケジュールを実施します。

エンド・オブ・ライフのバージョンを使用していて、有効なソフトウェア・サブスクリプションま

たはサポートおよび保守契約がある場合、どのようなサポートが受けられますか？

- 互換性や環境上の理由により、お客様がエンド・オブ・ライフ・ソフトウェアの実行を制限されるケースがあることを理解しています。このような状況では、HPはこれらのデバイスをサポートするために、商業上合理的な限定的な努力を提供する場合があります。
- お客様は引き続きサポート・インシデントを提出し、分析・評価されます。
 - 問題の原因が判明しており、これを軽減するオプションがある場合は、その旨を解答させていただきます。
 - 問題の原因が不明で更なる調査が必要な場合、その問題が後続のリリースで解決されているかどうかを確認するため、追加のトラブルシューティング・データを収集するために、サポート対象のリリースへのアップグレードをお客様にお願いすることがあります。新しいリリースにアップグレードできない場合、チケットの進行が遅れる可能性があります。
- 追加アップデートは提供されません。ソフトウェアのリリース終了となります。（セキュアブラウザのアップデートや新しいOSのサポートなどが含まれます）
- 例：サードパーティソフトウェアのアップデートによって既存の互換性が破壊されたり、新たな問題が発生し、この問題が設定オプションを使用して緩和できない場合、緩和策は機能の無効化、ソフトウェアの無効化、ソフトウェアのアンインストールに限定される可能性があります。